

Title	ホワイトカラー業務の再構築と派遣労働者の活用
Sub Title	
Author	佐藤かおり(Satou, Kaori) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1507号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1507">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1507</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	高木 研究室	学籍番号	89828370	氏名	佐藤 かおり
(論文題名)					
ホワイトカラー業務の再構築と派遣労働者の活用					
(内容の要旨)					
<p>本論文では、1999年の法改正により、ホワイトカラー業務全般を担当することができるようになった派遣社員の活用について考察を試みた。</p> <p>派遣社員を有効に活用するためには業務の再構築が不可欠であり、また業務の再構築には情報技術の活用が欠かせないという仮定を立て、実際に企業の人事担当者に対してインタビュー調査を行った。その結果、調査を行った多くの企業では派遣社員の活用についてはあまり積極的ではなく、長引く不況の中で生じた余剰人員の処遇に頭を悩ませているという状況がうかがえた。</p> <p>しかし、このことは今回調査を行った企業での状況であり、視点を転じてみると派遣社員を活用している企業がどのような状況にあるかも見えてくる。つまり業務の再構築によって業務を整理することで、派遣社員の活用という機会が生じるのである。</p> <p>派遣社員を派遣する人材派遣会社にとっては法改正による自由化は大きなビジネスチャンスである。企業の派遣社員に対する活用意欲があまり高くないという現状では、派遣会社自らが企業のニーズを引き出して行かなくてはならない。その手段が業務の再構築であり、コンサルティングと人材派遣を組み合わせることによってより高い付加価値をつけることができるのではないだろうか。そして情報システムを販売するS Iベンダーと手を組むことによって、業務再構築のノウハウを得、さらに付加価値を増すことができるのではないだろうか。</p>					